箱根ジオパーク
Hakone Geopark

ジオサイトマップ

北と南をつなぐ自然のみち　東と西をつなぐ歴史のみち

北と南をつなぐ自然のみち

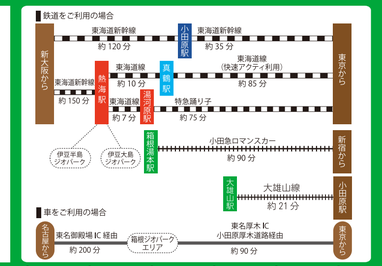
この地域の特徴は、フィリピン海プレートの伊豆・小笠原弧が北米プレートの本州弧に衝突したプレートの境界域に位置することと、その中心である箱根火山が、南北にのびる天然の障壁をなしていることです。箱根火山は、その北に連なる足柄山地・丹沢山地をはじめとするフォッサマグナ地域と、その南に連なる伊豆半島から伊豆・小笠原諸島の自然をつなぐみちに位置します。

東と西をつなぐ歴史のみち

日本の歴史を形作ってきた東海道や足柄道は、東西を結ぶ大動脈です。戦国時代の小田原城や石垣山一夜城、中世から始まり江戸時代に隆盛を迎えた石材採掘、江戸時代の箱根関所跡などは、かつてあった東西の厚擦や緊張を今に伝えています。まさに本地域は、古代からの日本の東と西の文化をつなぐ歴史のみちに位置するのです。

箱根ジオパーク
Hakone Geopark

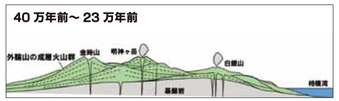
箱根ジオパークは、地域の自然と
歴史・文化の多様な資源を地質的な観点という
新しい視点を加えて見直し、
地域住民が自らの地域を再認識し関心を
深めるとともに、観光客にさらなる感動を
与えることを目指しています。



箱根火山の成り立ち

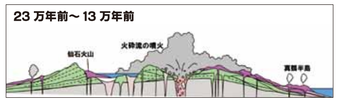
箱根山は日本を代表する火山の一つです。以前は一つの大きな火山が陥没して形成しているとされていました。しかし、最近の研究結果では、複数の火山が集まって形成されたという説が有力となりました。

40 万年前～ 23 万年前



何度も繰り返す噴火により中型～小型の富士山のような火山が連なった火山群を形成しました。金時山、明神ヶ岳、明星ヶ岳などをつくる溶岩はこの時代に形成されました。

23 万年前～ 13 万年前

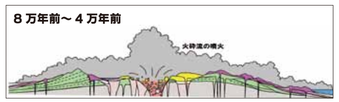


火山群の中心部で大規模な噴火が何度も起こり火砕流が発生しました。火山群の中心部は破壊され、噴火後にカルデラとなり、その周囲は外輪山となりました。また、この時期には外輪山の山腹での噴火が活発となり、真鶴半島もつくられました。

13 万年前～ 8 万年前

この時期以降、噴火はカルデラの内側に限定されるようになり、鷹巣山、浅間山、屏風山など山頂が比較的平らで台地状の山の形が特徴の古い（前期）中央火口丘がつくられました。

8 万年前～ 4 万年前



爆発的な噴火が何度も起こり、新しいカルデラがつくられました。約 6 万 6 千年前に発生した火砕流の噴出物は東京軽石と呼ばれ、広範囲に飛び散り南関東一円に堆積しています。

4 万年前～現在

カルデラの内側に粘り気のある溶岩が噴出して固まり、いくつものドーム型の山をつくりました。この時にできたのが神山、駒ヶ岳、二子山などの新しい（後期）中央火口丘です。そして約 3 千年前に神山の一部斜面が崩れ、その土砂が早川を堰き止めて芦ノ湖がつくられました。

日本地質学会地学教育委員会編(2007)
『国立公園地質リーフレットたんけんシリーズ 1
箱根火山たんけんマップ－今生きている火山－』©一般社団法人日本地質学会

拠点施設

- Pf1 箱根ジオミュージアム
- Pf2 小田原市郷土文化館
- Pf3 箱根町立郷土資料館
- Pf4 箱根関所・箱根関所資料館
- Pf5 箱根町立森のふれあい館
- Pf6 箱根ビジターセンター
- Pf7 箱根町立箱根湿生花園
- Pf8 真鶴町立遠藤貝類博物館
- Pf9 湯河原町立図書館
- Pf10 南足柄市郷土資料館
- Pf11 神奈川県立生命の星・地球博物館
- Pf12 神奈川県温泉地学研究所

箱根中央火口丘 エリア

- H1 大涌谷
- H2 早雲山と大涌沢
- H3 神山と流れ山
- H4 駒ヶ岳
- H6 関所と石畳
- H7 芦ノ湖
- H13 元箱根石仏群
- H14 箱根神社

箱根早川沿い エリア

- H5 仙石原湿原
- H8 長尾峠
- H9 金時山
- H16 堂ケ島
- H17 蛇骨渓谷
- H18 白石地蔵と福住旅館外壁
- H21 千条の滝

箱根須雲川沿い エリア

- H10 大観山
- H11 須雲川
- H12 玉簾の滝
- H15 飛龍の滝と柱状節理

小田原 エリア

- O1 早川石丁場群
- O2 小田原城と小田原用水
- O3 石垣山一夜城
- O4 根府川(片浦海岸)
- O5 荻窪用水
- O6 羽根尾貝塚
- O7 六本松跡

真鶴 エリア

- Ma1 魚付き林と漁礁
- Ma2 三ツ石海岸
- Ma3 岩地区
- Ma4 貴船神社
- Ma5 しとどの窟(真鶴)
- Ma6 真鶴半島採石場跡

湯河原 エリア

- Y1 幕山
- Y2 南郷山
- Y3 しとどの窟(湯河原)
- Y4 城願寺
- Y5 不動滝
- Y6 湯河原温泉
- Y7 福浦カツラゴ海岸

南足柄 エリア

- Mi1 足柄峠と足柄道
- Mi2 矢倉岳
- Mi3 夕日の滝
- Mi4 蛤沢周辺
- Mi5 文命堤
- Mi6 最乗寺と杉林
- Mi7 清左衛門地獄池
- Mi8 御嶽神社と矢佐芝石丁場

私たちは箱根ジオパークを応援しています！

http://www.seisa.ac.jp
SEISA の書庫へようこそ
SEISA 星槎大学
共生科学部 通信制課程
大学院 教育学研究科 修士課程 / 博士後期課程
教育実践研究科 専門職学位課程
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817-255

FUJIYA HOTELS & RESORTS
富士屋ホテル
(2020 年 7 月 15 日 グランドオープン)
湯本富士屋ホテル
箱根ホテル
仙石ゴルフコース
箱根駅伝ミュージアム

ジオサイト H10
渋滞を避け、素晴らしい景色に包まれた、快適な旅へ！
大観山から眺める箱根連山と富士山（アネスト岩田ターンパイク箱根・本線終点）
小田原厚木道路・小田原西 I C から600m、または 西湘バイパスから直結！
首都圏と伊豆・箱根を結ぶ快適ドライブウェイ　https://www.htpl.co.jp
アネスト岩田 ターンパイク箱根　☎ 0465-23-0381　@turn819

Hakone Geopark
箱根ジオパーク Hakone Geopark
GEOPARKS JAPAN 日本ジオパークネットワーク

箱根ジオパーク推進協議会
事務局(箱根町企画課 ジオパーク推進室内)
TEL. 0460-85-9560 http://www.hakone-geopark.jp/

2020

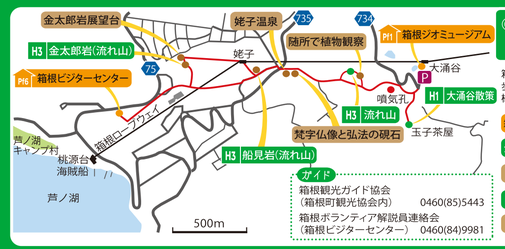
◎箱根湯本散策コース　A

所要時間 2 ～ 3 時間(短縮可)

湯本周辺の大地の生い立ちの跡を探りながら、この地の歴史と温泉について知ることができるコースです。

箱根町立郷土資料館 → 早雲寺 → 正眼寺 → 信濃邸の火砕流堆積物 → 石畳 → 玉簾の滝 → 早川泥流堆積物 → 横穴式源泉跡 → 白石地蔵 → 福住旅館外壁 → 熊野神社 → 湯本温泉

ガイド　箱根観光ガイド協会(箱根町観光協会内)　0460(85)5443



◎湖尻から大涌谷までの軽登山コース　B

所要時間 2 時間

箱根ビジターセンターから大涌谷までの山道を歩きながら、火山地形や散策道沿いに生える植物を観察するコースです。

箱根ビジターセンター → 金太郎岩(流れ山) → 金太郎岩展望台 → 陸所で植物観察 → 大涌谷散策 → 箱根ジオミュージアム → 姥子温泉 → 船見岩(流れ山) → 流れ山 → 梵字仏像と弘法の硯石

ガイド　箱根観光ガイド協会(箱根町観光協会内)　0460(85)5443
箱根ボランティア解説員連絡会(箱根ビジターセンター)　0460(84)9981

◎豊臣氏VS北条氏の小田原合戦を知るコース　C

所要時間 4 ～ 5 時間(短縮可)

観光地として有名な小田原城と一夜城ですが、箱根火山がつくりだした地形を活用しています。

富士山園を眺める(城郭ネットワーク) → 溶岩を使った石垣 → 海蔵寺 → 早川石丁場群 → 早川口遺構 → 石垣山一夜城 → 小田原市郷土文化館 → 小田原城

ガイド　NPO 法人 小田原ガイド協会　0465(22)8800

◎真鶴の地質、生物、歴史を満喫するコース　D

所要時間 3 ～ 4 時間

真鶴半島は約 15 万年前に、この地に隆起した溶岩でできました。ここでは地質はもちろん、様々な植物や海岸動物を観察することができます。

お林(お林展望公園) → 三ツ石海岸 → 貴船神社 → しとどの窟(真鶴) → 各所で相模湾と箱根外輪山の展望 → 真鶴半島採石場跡(番場浦海岸) → 真鶴町立遠藤貝類博物館

ガイド　真鶴観光ボランティアガイド(真鶴町観光協会内)　0465(68)2543

◎鎌倉幕府開運コース　E

所要時間 4 ～ 5 時間

しとどの窟から城山、城願寺に至るコースには、源頼朝にちなんだ名所が多数あります。いずれも火山と関連したものです。

湯河原駅からバスで「しとどの窟」へ

椿台・相模湾と伊豆半島の展望 → しとどの窟(湯河原) → 幕山を眺める → 城山(土肥城址) → 相模湾と伊豆半島の展望 → 鎌朝ゆかりの名石立石とかぶと石 → 城願寺

図書館には郷土関係の書籍があります

ガイド　湯河原町まちづくりボランティア協会(湯河原町役場内)　0465(63)2111

◎足柄峠から眺る富士山と箱根の山々～金太郎伝説をたどるコース　F

所要時間 4 ～ 5 時間

その昔東西を結んだ官道・足柄古道を歩き、断腸のぜれつ日々に生まれた夕日の滝を観察します。足柄万葉公園までの路線バスは、4 月、5 月、10 月、11 月に限定されます。

大雄山駅からバスで万葉公園へ

足柄万葉公園 → 足柄明神社跡 → 足柄峠 → 足柄古道入り口 → 地蔵堂 → 金太郎遊び石 → 夕日の滝 → 大雄山駅までバス

ガイド　南足柄ジオガイドの会(南足柄市役所内)　0465(73)8001

P 駐車場は有料、無料とあります